

プログラム

1月23日(火)

10:20～ 開会挨拶

10:30～11:00 一般演題：炎症

(座長) 豊國 伸哉 (名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学)

(1) Development of a Cellular Assay System Mimicking Corneal Epithelial Cells and Neutrophil-Induced Inflammation in the Presence of Bacterial Substances
Zirui Zeng (Dept. of 1st. int. med, Univ. Occ. Env. Hlth)

(2) マクロファージを制御するケモカイン受容体シグナル促進分子FROUNTの研究
寺島 裕也 (東京理科大学生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)

11:00～12:00 特別講演

(座長) 平工 雄介 (福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学)

「拡大する腎臓病学」

柳田 素子 (京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 教授)

12:00～13:00 昼食休憩

13:00～13:30 総会

13:30～14:45 一般演題：代謝

(座長) 西田 基宏 (九州大学大学院薬学研究院 生理学分野)

(3) 脂肪細胞における超硫黄分子蓄積代謝制御の解明
海野 雄加 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

(4) 超硫黄触媒によるホルムアルデヒドとNOの解毒代謝とシグナル制御機構
守田 匡伸 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

(5) 環化超硫黄分子の生体内エネルギー代謝機能の解明
松永 哲郎 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

(6) Evolutionarily conserved octasulfur mediates supersulfide signaling and metabolism in mammalian cells

Uladzimir Barayeu (Dept. Env. Med. and Mol. Tox, Grad. Sch. of Med., Tohoku Univ.)

(7) SARS-CoV-2の5'UTRはヒト細胞の代謝経路に影響を与える

清水 由梨香 (川崎医科大学衛生学)

14:50～15:50 一般演題：化学物質・神経

(座長) 市原 学 (東京理科大学薬学部 環境労働衛生学)

(8) Effect of sulforaphane on multi-walled carbon nanotube-induced pulmonary inflammation in mice

Saleh Ahmed (Department of Occupational and Environmental Health, Faculty of Pharmaceutical Science, Tokyo University of Science)

(9) Taurine treatment reduces amyloid-beta and phosphorylated tau deposition in the brains of aged senescence-accelerated mice by increasing the level of TREM2

Sharif Ahmed (福井大学医学部環境保健学)

(10) 母体へのグルホシネート曝露による発達期シナプス病態の解析

和泉 宏謙 (富山大学医学部分子神経科学講座)

(11) ベトナムにおける母親のダイオキシン暴露の出生児の性差に与える影響

西条 旨子 (金沢医科大学医学部公衆衛生学)

16:00～18:00 シンポジウム

「化学物質による疾病の分子機構：次世代の社会医学系実験研究への展望」

(座長) 平工 雄介 (福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学)

小林 果 (三重大学大学院医学系研究科 環境分子医学)

1) 亜鉛欠乏が引き起こす免疫機能を介した生体影響

木戸 尊将 (東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座)

2) 職業性膀胱がん事例に端を発する化学物質の経皮ばく露及びDNA損傷性に関する研究

豊岡 達士 (独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター 有害性評価研究部)

3) 肺がん細胞を用いた銀ナノ粒子の細胞内挙動と細胞応答の解析

宮山 貴光 (東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 (環境・産業医学分野))

4) 動きとかたちの研究から探る化学物質による子どもの中枢神経障害

木村 栄輝 (福井大学学術研究院医学系部門 国際社会医学講座 環境保健学分野)

18:30～ 懇親会

ウェルアオッサ（アオッサ3階、研究会と同じ建物）

1月24日(水)

10:00～11:00 一般演題：腫瘍

（座長）村田 真理子（三重大学大学院医学系研究科 環境分子医学）

(12) 低温プラズマはがん細胞でフェロトーシスを誘導する

豊國 伸哉（名古屋大学大学院医学系研究科 生体反応病理学）

(13) 実践的がん予防を目指した、RB再活性化果実飲料の開発

堀中 真野（京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学）

(14) GGCTの阻害はAMPK-STAT3-c-Met経路の抑制を介してがん抑制遺伝子RBを活性化する

谷口 恵香（京都府立医科大学 創薬医学）

(15) シングルセルRNA-seqと空間トランスクリプトーム解析の統合による胃の恒常性解明

坪坂 歩（東京大学大学院医学系研究科衛生学分野）

11:10～12:10 一般演題：循環器・感染

（座長）守田 匡伸（東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野）

(16) Cardiac vulnerability caused by reduction of CARS2-dependent supersulfide production

Xiaokang Tang（総合研究大学院大学生命科学研究科、生理学研究所心循環シグナル研究部門）

(17) The impact of supersulfide metabolism in cardiac cellular remodeling

Liuchenzi Zhou（総合研究大学院大学生命科学研究科、生理学研究所心循環シグナル研究部門）

(18) TRPC6-mediated Zn^{2+} influx prevents β -adrenoceptor-stimulated heart failure through maintaining supersulfide metabolism

Chenlin Su（Graduate school of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University）

(19) 腸管出血性大腸菌毒素SubABの毒性発現に關与する宿主因子の解析
津々木 博康 (熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座)

12:10～ 閉会挨拶